

I. 調査概要

1. 調査目的

本調査の目的は、スポーツボランティア関係団体を対象とし、団体の組織概要と活動内容について明らかにし、さらに、組織のプログラム・ライフサイクルによる団体の類型化による比較を通して、スポーツボランティア関係団体の組織化と活動の継続化につながる要因を明らかにすることである。

2. 研究方法

調査対象 : 国内のスポーツボランティア関係団体 60 団体
(ウェブサイト検索により作成したリストから有意抽出)

調査期間 : 2011 年 12 月 24 日～2012 年 3 月 15 日

調査方法 : 郵送法による質問紙調査
笹川スポーツ財団から対象団体へ質問紙を郵送し、団体担当者が記入後、神戸大学生涯スポーツ研究室宛に郵送および FAX にて返送をした。

調査項目・尺度 : 次頁一覧表(表 I)を参照

回収数 : 回収数 38 票、有効回答数 33 票(有効回答率 55.0%)

分析方法 : 1)単純集計(n=33)
2)ライフサイクル分析:「プログラム・ライフサイクル」(program lifecycle)をもとに、組織運営ライフサイクル(※)によるタイプ別の比較を行うため、クロス集計を行った。
3)自由記述に関しては、組織運営ライフサイクル※のタイプ別に特徴を分類した。

※組織運営ライフサイクル【詳細は、Ⅲ.「2 ライフサイクル～」参照】
団体における活動の活発度を、設立年から現在に至るまでをフリーハンドで回答を求め、その結果を類型化した。

- | |
|-----------------------------------|
| ①「成長型」 : 設立から右肩上がり、現在まで成長中 |
| ②「維持型」 : 設立から現在まで大きな変化なく推移 |
| ③「成熟衰退型」 : 設立から右肩上がりとなるが、その後、衰退傾向 |
| ④「消滅型」 : 設立時がピークで衰退し、現在は活動消滅状態 |

ヒアリング調査 : 以下の 5 団体に対しヒアリング調査を実施した。

- ①財団法人さっぽろ健康スポーツ財団、
- ②特定非営利活動法人うつくしまスポーツルーターズ、
- ③埼玉県スポーツボランティア、
- ④公益財団法人スペシャルオリンピックス日本、
- ⑤特定非営利活動法人成田空港ボランティア・スカイレッツ

3. 研究体制

本研究は、以下の学識者と笹川スポーツ財団の共同研究により実施した。

共同研究者：山口泰雄（神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授）

研究協力者：稲葉慎太郎（神戸大学大学院 人間発達環境学研究科博士課程後期課程）

表 I . 調査項目および尺度

調査項目	操作定義	尺度	
団体概要	活動開始年	スポーツボランティアに関する活動の開始年	実数
	法人格取得有無	団体の法人格取得の有無	1.取得している、2.取得していない
	団体の総会(理事会)	団体の総会(理事会)の開催状況	1.定期的に開催する、2.不定期だが開催する 3.開催していない
	収支決算書	団体の収支決算書の有無	1.ある、2.ない
	収支決算額(収入)	昨年度(2010年度)の収支決算額(収入) 会費(賛助会費含む)収入、事業収入 補助・助成金、寄付金、行政からの委託金 その他、総額	実数
収支決算額(支出)	昨年度(2010年度)の収支決算額(支出) 事業費、管理費、人件費、その他、総額	実数	
ボランティア登録者	登録者数	現在のボランティア登録者数	実数
	男女比	登録者の男女比	実数
	年代の特徴	登録者の年代の特徴	1.高齢者層(65歳以上)が多い 2.中年者層(45~64歳)が多い 3.壮年層(25~44歳)が多い 4.各年代まんべんなくいる 5.その他
活動内容	活動内容	団体におけるスポーツボランティア活動内容 (複数回答)	1.イベント・大会の運営補助 2.イベント・大会の指導者・審判 3.スポーツ施設の管理補助 4.スポーツボランティア募集情報の発信 5.ボランティア講習会の開催 6.クラブ等の指導者・審判 7.クラブ等のスポーツ組織の運営補助 8.その他
	講習会の開催	登録者向けの講習会実施状況	1.実施している、2.実施していない
	活動日数	昨年度のスポーツボランティアの活動日数	実数
	活動内容の通知方法	登録者向けの活動内容の通知方法 (複数回答)	1.郵便(メール便含む)、2.電話、3.FAX 4.電子メール、5.ホームページ、6.定例会 7.口コミ、8.団体の機関紙 9.団体事務所における掲示 10.スポーツイベント時の情報誌 11.行政の広報紙 12.行政・自治会等の掲示板、13.その他
	インセンティブ	活動に伴うインセンティブ (複数回答)	1.スタッフウェア、2.スタッフキャップ 3.弁当・食事、4.慰労会 5.アスリートとの懇親会、6.スポーツ観戦チケット 7.金券(商品券、回数券等) 8.現金(交通費、食事代程度)、9.その他 10.特になし
組織運営ライフサイクル	設立年から現在までの団体の活動活発度	フリーハンドによるグラフ記入	
	最大登録者時期		1.設立年、2.現在、3.設立から<実数>年目
	活動最盛時期		1.設立年、2.現在、3.設立から<実数>年目
ソーシャル・キャピタル	スポーツ・ネットワーク	団体所在地のスポーツ関係者との交流 団体の登録者(会員含む) 他のスポーツボランティア団体の関係者 団体所在地の行政担当職員 団体所在地におけるスポーツ団体の関係者	1.年に1日以下 2.年に2日以上 月1日以下 3.月2日以上 週1日以下 4.週2日以上
	地域ネットワーク	団体所在地の地域住民との交流 団体所在地のスポーツ以外の地域団体の関係者 団体所在地の近隣住民 友人・知人 親類・親戚(家族以外)	1.年に1日以下 2.年に2日以上 月1日以下 3.月2日以上 週1日以下 4.週2日以上